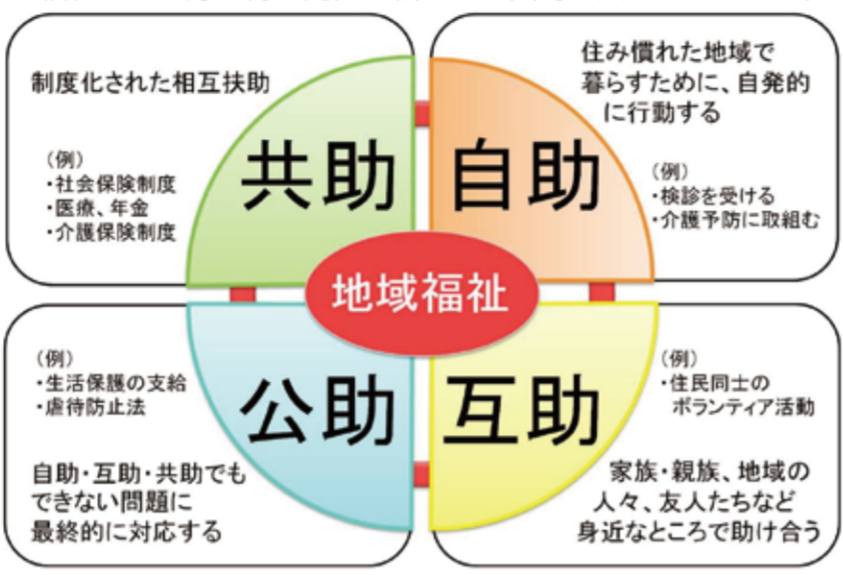




地域の“ささえ愛”をめざして～地域のささえ愛ネットワーク～

介護保険事業の事実上の縮小など、行政サービスによる地域の福祉事業は大きな転換期を迎えています。本来地域にあった「助け合い」による地域福祉のあり方を再び見直す機運が全国的に広がっています。



「自助・互助・共助・公助」の具体例
(参考：厚生労働省 HP、地域包括ケアシステム .net)

高齢になっても安心
誰だって、愛着ある地元で暮らし続けたいもの。そのためには地域の福祉サービスの充実が不可欠といわれています。福祉サービスを促進する考え方で、国は「自助・互助・共助・公助」の考え方を提唱しています（左図）。

少子高齢化が急速に進むなか、行政が行う福祉サービスでは対応しきれず、今後は住民が参加し地域福祉を担うことが必要とされています。そこで、和歌山市を中心とした地域で、住民参加の立場で地域福祉の取り組みを進めている「地域のささえ愛ネットワーク」の活動から、これからの地域福祉を考えます。

大きくなる「自助・互助」の役割
現在、介護の必要性が比較的低い「要支援者」向けのサービス（自宅の掃除や洗濯・入浴などの介護、施設に通所してのレクリエーション活動を行うサービス）は全国一律に行われていますが、昨年の介護保険制度の見直しにもない、多くの自治体では来月4月から市町村独自に行われるようになります。市町村は、地域の自治会・ボランティア・NPOなどにサービスを頼めるようになり、これからは地域住民自らがサービス



住民と専門家のネットワークで
地域のささえ愛ネットワークは「自助・互助」がますます必要とされるなかで、和歌山でも住民同士の支え合いの意識を高めていくと活動しています。メンパーは福祉、医療、教育、行政、企業、NPOなど多様な立場から福祉の現場に携わる人たちが、福祉の専門知識を持つ人たちがそれぞれの得意分野や活動事例を報告しながら、知恵を出しあい、地域福祉に関する様々な課題をまとめ、地域や行政へ提言しています。また、専門家と住民の早朝勉強会も定期的

今から何ができるかを考えよう
今後は高齢者だけでなく、障がい者、子どもも地域の中で支え合っていくことが必要となります。自分が住む家の近所には支援を必要としている人はいらっしゃいますか。また、福祉の専門知識を持つ人は周りにいるのでしょうか。それを考えてみることで「絆のある」地域づくりにつながるはずです。
(K・K)

の担い手となることが期待されます。これからは、行政が主となる「共助・公助」よりも、住民が主なる「自助・互助」が重視されるようになるのです。

に開催することによって、専門家と住民が顔の見える関係を築いています。参加者が緩やかにつながって、「どのような助け合い・支え合いの地域をつくるか」を住民と一緒に考える機会を積極的につくっています。早朝勉強会は申込みをすれば、誰でも参加することが出来ます。

地域のささえ愛ネットワーク（代表 市野弘さん）
FAX 073-474-2248 メール tarosaku54321@yahoo.co.jp
《今後の活動予定》
専門家と住民の早朝勉強会 毎月1回土曜日のAM7:00～
(参加希望の方はお問い合わせください)

(右上・右) 7月に行われた「井戸端会議2016」の様子から。行政、民生委員、障がい者支援、NPOなどの専門家が集まって事例発表をおこないました。公開勉強会は5回目の開催。

NPO 紙上講座 (39) NPO 法人をつくろう！ ②

A NPO 法人の情報発信が大事だ、って一口にいうけど、みんなどんな感じでやってるのかな。
B 和歌山県内であれば、約380のNPO法人のうち、約半数の187団体（8月20日現在、和歌山県NPOサポートセンター調べ）が何らかの方法でインターネットでの情報発信をおこなっているね。
A それってホームページってこと？
B ホームページも多いけれども、最近はブログやFacebookなどのソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を活用する団体が増えているね。
A 確かにホームページだと更新が面倒だ、って思いがちだけど、ブログやSNSだとまだ簡単だよな。携帯電話やスマートフォンでも投稿できるサービスも多いし。
B 初めて見る団体のことを知ろうと思えばまずネット検索、という人も多いから、インターネットで何らかの情報発信を行なっておくのは、自分の団体のことを知ってもらう上では重要だろうね。

A SNSだと、活動を行なっているその場の様子を投稿できるから、速報性にも優れて、団体の様子がよくわかりそう。
B 一般にブログやSNSはネット検索でヒットしやすいと言われてるので、できれば両方、両方が難しければブログかSNSのどちらかは団体名義で開設しておきたいところだ。
A 活動の情報はそれでいいとして、団体の基本的な情報も公開しておくほうがいいんだよね？
B もちろん。NPO法人の情報、特に事業報告については過去3事業年度（近日中に施行される改正NPO法では過去5事業年度）の分が所轄庁などで閲覧できるんだけど、これらの書類は一部を除いて内閣府NPOホームページでも公開されている。
またNPO法人には法人番号も付与されるから、国税庁の法人番号検索サイトを使えば、誰でも法人の所在地等の情報を確認することができる。
つまり、NPO法人を設立すると半ば強制的に情報

が公開される、ということになる。しかし、所轄庁が公開する情報だけじゃやはり不足するから、団体としても定款や役員、設立趣旨や団体が掲げるミッション、事業計画やこれまでの実績、広報紙などといった、いわゆる「基本情報」は公開しておくのが望ましい。
A どこで公開できるの？
B 自身のホームページを持つならそこでもいいけれども、ブログやFacebookだとそういう文書を掲載できない場合もあるよね。
内閣府NPOホームページでは、自身の団体のページに自分で追加情報を入力できる仕組みがあるので、これを使うのも一手。また、民間のNPO向けデータベースサービスを使うのも一手。
内閣府NPOホームページへの登録は無料だし、民間のNPO向けデータベースも無料で利用できるがほとんどだから、気軽に利用できる。民間でいうと、日本財団による「CANPAN」、日本NPOセンターによる「NPOヒロバ」などが有名だ。

みんなでつくる情報板 わかやまイベントボード

- 和歌山線「アートトレイン」
和歌山線沿線の県立高校・支援学校が参加するアートイベントです。
日程 9月4日(日)
内容 臨時列車内コンサート(和歌山9:23発→橋本11:29着、橋本13:40発→和歌山15:20着)、駅コンサート(和歌山駅コンコース・高野口駅前広場)
入場料 臨時列車内コンサート(各駅停車)には乗車区間の乗車券が必要。駅コンサートは無料
備考 天候等の事情により、ダイヤの変更やイベント中止の可能性がります。
- わかやま夜市
「和歌山で台湾を楽しもう！」をテーマに飲食や物販、体験型ブースも出店予定。
日時 9月4日(日)
15:00～22:00
場所 七曲市場(和歌山市東長町)
内容 台湾料理の出店、踊り、音楽など
参加費 無料
問い合わせ 和歌山日台交流協会(Facebookページは団体名もしくはイベント名で検索、メール info@wanittai.org)
- 「人、企業、可能性。」-障がい者ととも、未来を拓く-
脳性麻痺による障がい者ながらもながら障がい者就労支援にも携わっている講師を招きます。
日程 9月9日(金)
14:00～16:00
場所 岩出市総合保健福祉センター3階視聴覚室
講師 紺野大輝さん(「奇跡の連鎖」代表)
参加費 無料(申し込み必要)
締切 9月6日(火)
問い合わせ・申し込み 公益財団法人和歌山県人権啓発センター(073-435-5420 メール kouen2016@w-jinken.jp)
- 秋葉山公園パーク・オリエンテーリング大会
地図で示されたチェックポイントをできるだけ速く回ってくる競技です。2～5人のグループや個人で参加できます。
日程 9月11日(土)
10:30～13:00
集合場所 秋葉山プール会議室
参加費 1人500円(当日は600円、事前申し込み必要)
備考 詳細・申し込みは和歌山県オリエンテーリング協会webページ(http://www.waka-orienteering.net/)から。
このほかの情報もたくさん掲載！「わかやまイベントボード」URL
PC版 http://eventboard.shiminjuku.jp/
携帯電話版 http://eventboard.shiminjuku.jp/m/

